

レファレンスだより 2020年2月号 No.207

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

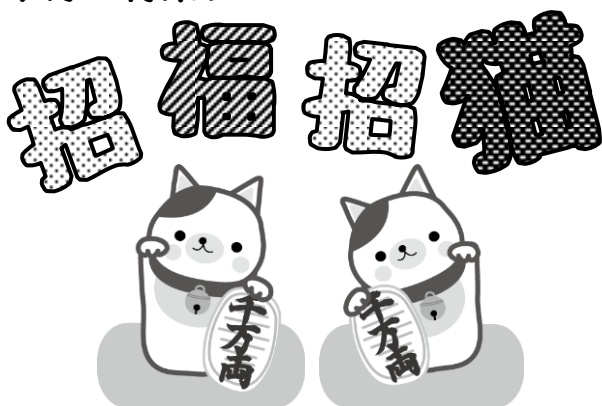
図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数(2019年11月分)

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
64	1627	576	389	408
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
396	35	641	825	4961

(開館日 26日 一日平均 191件)

今月の特集!



2月22日は「ニャンニャンニャン」で猫の日です。英文学者の柳瀬尚紀らが「猫の日制定委員会」の名で全国に公募し1987年に選定されました。時は移って、世はまさに猫ブーム!猫カフェ・猫ヨガで癒され、休日は猫の島へ小旅行!?実は、多くの作家や画家たちにも愛された猫は、図書館とも縁が深いのです。今月はそんな猫たちにあやかって、皆さまにも「福」が訪れますように…。

招き猫の世界へようこそ!

- 『招き猫百科』 (荒川 千尋/文 板東 寛司/写真 インプレス 2015)
- 『招き猫の宮』 (菊地 真/著 荒川 千尋/著 戎光祥出版 2004)
- 『招き猫の文化誌』 (菊地 真/編 日本招猫倶楽部/編 勉誠出版 2001)

猫への愛が迸る!

- 『作家の猫』(※『作家の猫 2』もあり) (コト・ブックス編集部/編 平凡社 2006)
- 『猫の本: 藤田嗣治画文集』 (藤田 嗣治/著 講談社 2003)
- 『わたしのノラネコ研究』 (山根 明弘/著 さ・え・ら書房 2007)



招き猫豆知識

一般的に、右手を挙げた猫は「金招き」、左手を挙げた猫は「人招き」のご利益があると言われる。

【出典:『招き猫の宮』菊地 真/著 荒川 千尋/著 戎光祥出版 2004】

図書館だって猫が好き!

- 『図書館ねこデューイ』 (ヴァッキー・マイロン/著 羽田 詩津子/訳 早川書房 2008)
- 『図書館ねこバイカー&テイラー』 (ジャン・ラウチ/著 ラザ・ロガック/著 早川書房 2016)



レファレンス・カウンターのちょっといい話!

2階の夏休み特別展示「戦争と平和」に展示されていた『広島・長崎: 原子爆弾の記録』という本に、今は亡きお父様(終戦の数年後に他界)が偶然写っていることに気づかれた利用者の方がいらっしゃいました。その写真を新聞社より焼増してもらい、ご仏前にお供えされたとのこと。ご自身の被爆も顧みず特設病院で人助けをしていたのであろうお父様のお姿に当時を偲びつつ、お写真での偶然の再会に大変喜んでいらっしゃいました。



質問：ベートーベンの「第九」の本邦初演は、俘虜収容所の俘虜たちによって行われたと聞いたが、本当か。（人文科学）



回答：1918（大正7）年、四国徳島の板東俘虜収容所で、ドイツ人俘虜によって「第九」が演奏されています。その根拠として引用されているのは、その演奏を生で聞いた徳川頼貞が著した『蒼庭（わいてい）楽話』。また、『望郷のシンフォニー』には、当時のプログラムが発見された時の様子も書かれています。



調査に利用した図書館資料

- ① 『望郷のシンフォニー：「第九」日本初演事情』（林 啓介／著 長征社 1986年）閉架書庫 762.34/ハ
- ② 『「第九」の里ドイツ村：板東俘虜収容所』（林 啓介／著 井上書房 1993年）閉架書庫 210.69/ハ
- ③ 『「第九」のすべて』（武川 寛海／著 芸術現代社 1987年）閉架書庫 764/タ
- ④ 『<第九>と日本人』（鈴木 淑弘／著 春秋社 1989年）閉架書庫 764/ス
- ⑤ 『音楽の殿様・徳川頼貞』（村上 紀史郎／著 藤原書店 2012年）2階B14 289/トク
- ⑥ 『蒼庭楽話』（国立国会図書館デジタルコレクション【図書館間送信限定】）
「徳島で第九交響曲を聴く」



質問：おでんの歴史について知りたい。（社会科学）



回答：名称は「お田楽」の略で、語源は田楽舞に由来します。「焼いた田楽」が次第に煮込んで食べられるようになった等、諸説あるようです。
以下のような資料があります。



調査に利用した図書館資料

- ① 『日本大百科全書 4 2版 おおつ-かき』（小学館 1994年）2階C1 R031/ニ
田楽舞の装束が白い豆腐に色変わりみそを付けた料理に似ているのを語源とする解説あり。
- ② 『たべもの日本史総覧』（西山 松之助／ほか著 新人物往来社 1994年）2階D7 R383.8/タ
豆腐田楽を祖とする語源や変遷、料理用語や県別の郷土料理の項目でそれぞれ解説あり。
- ③ 『たべもの起源事典』（岡田 哲／編 東京堂出版 2003年）2階D7 R383.8/タ
こんにゃく田楽からの変遷を解説。安土桃山期『利休百会』等、文献からの引用文あり。
- ④ 『日本の味探究事典』（岡田 哲／編 東京堂出版 1996年）2階D7 R383.8/オ
- ⑤ 『日本の食文化大系 16 とうふ通』（東京書房社 1983年）2階D19 383.8/ニ
- ⑥ 『こんにゃく史料』（日本こんにゃく協会 1968年）2階E4 R619.7/コ
「こんにゃく」が言及された古代以後～明治の史料が紹介され、おでんに関して2か所あり。
- ⑦ 『文化としての食と旅』（周 達生／著 清水書院 1998年）閉架書庫 383.8/シ
韓国や台湾のおでんについても記述あり。
- ⑧ 『とことんおでん紀行（知恵の森文庫）』（新井 由己／[著] 光文社 2002年）
1階ポ50 B383.8/フ
- ⑨ 『おしゃべり胃袋：マンガ・エッセー』（鈴木 義司／著 報知新聞社 1996年）
閉架書庫 596.04/ス



質問:『ハックルベリ・フィンの冒険』に、「牛は後脚から、馬は前脚から立ち上がる」という会話があるが、これは本当か。(自然科学)



回答: 本当です。

ウシは後肢を先に延ばし、ウマは前肢を先に延ばして立ち上がります。

以下の資料で確認できました。



調査に利用した図書館資料

- ① 『ウマの科学』(近藤 誠司／編集 朝倉書店 2016年) 2階E12 645.2/ウ
P77「ウシでは(中略)後肢が起立位置まで持ち上がったところで、前肢を延ばして完全な起立姿勢となる。一方、ウマでは伏臥から前肢を延ばしながら、その長い首とその先端の頭部を下から上に一気に振り回して、その勢いで後肢を持ち上げて、一瞬のうちに起立姿勢となる。」
- ② 『家畜行動学』(三村 耕／編著 養賢堂 1988年) 2階E12 645/ミ
P133「牛が(中略)立上る時は、前肢を折って揃え、体の重心を前方へ移しながら後肢を立ち前肢は膝立ちになり、最後に前肢も立上る。」
※P134に図あり
- ③ 『家畜行動図説』(佐藤 衆介／ほか編著 朝倉書店 1995年) 2階12 645/カ
P26 ウマ「立位に戻る場合は、先に前肢をつぱり次に後肢を伸展し、その反動で立ち上がる」
※写真あり



質問:ここ10年間の韓国での婚姻・離婚に関する資料を見たい。(国際)

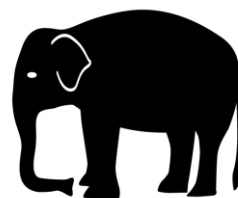


回答:『韓国統計年鑑 2017』(統計庁 2018年)に、以下の資料が掲載されています(韓国語・英文併記)。[2階A6]

- ① 上記書、p.115、「인구동태건수 및 동태율 추이(人口動態件数と動態率の推移)」
1997～2016年までの婚姻件数、離婚件数が掲載されている。
- ② 上記書、p.123、「초혼,이혼 및 재혼의 평균연령(初婚、離婚及び再婚の平均年齢)」
1990～2016年までの初婚、離婚、再婚の平均年齢を掲載している。
- ③ 上記書、p.124、「국적별 외국인과의 혼인(国籍別外国人との婚姻)」
2011～2016年までの外国人との婚姻件数が国籍別に掲載されている。
- ④ 上記書、p.125、「국적별 외국인과의 이혼(国籍別外国人との離婚)」
2011～2016年までの外国人との離婚件数が国籍別に掲載されている。
- ⑤ 上記書、p.126、「혼인 귀화자 출신국별 분포(婚姻帰化者の出身国別分布)」
2006～2016年までの婚姻による韓国への帰化者の人数が国籍別に掲載されている。
- ⑥ 上記書、p.135、「가족관계등록사건(家族関係登録事件)」
2004～2016年までの婚姻理由(通常・先入籍)、離婚(協議・裁判)の件数が記載されている。
- ⑦ 上記書、p.136-137、「가구주의 성, 연령 및 혼인상태별 추세가구(世帯主の性・年齢・婚姻状態別推移世帯)」
2013～2017年で、各年別に各世帯での配偶者の有無、死別、離婚、未婚の件数を年齢別・男女別に掲載している。



今月の一冊！



『生き物と音の事典』

(生物音響学会／編集 朝倉書店 2019年) 2階E2 R481.36/1

生物と音の関わりを幅広く解説した事典。発声・聴覚のメカニズムから生態・進化的背景まで幅広く取り上げ、各1～4頁の読み切り形式で解説されている。鳴き声によるコミュニケーションについて、また研究対象は霊長類、コウモリ、海洋動物、鳥類、両性爬虫類、魚類、昆虫類など多様な生物をテーマに取り上げている。事項索引、学名索引付き。

使ってみました ⇒ 項目 2-38 「ネズミの声、ゾウの声」



地上最小の哺乳類であるネズミの仲間と、地上最大のゾウの仲間について紹介されている。

初めに、ネズミの代表であるマウスの声とゾウの声について取り上げられている。ちなみに、マウスの鳴き声は思い浮かべるなら「チューチュー」、ゾウの場合は「パオーン」などであるが、実際はマウスもゾウもいくつもの鳴き声を使い分けて仲間とコミュニケーションを取っている。マウスの聞こえる周波数は3万から11万Hzで、ゾウは5Hzから数十Hz程度であるため、ヒトの聞こえる領域20Hz～2万Hzでは、彼らが鳴いていたとしてもそのほとんどをヒトは聞くことができない、というエピソードなども記載されている。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	1989：ベルリンの壁崩壊後のヨーロッパをめぐる闘争 (上)・(下)	メアリー・エリス・サロッティ／著 奥田 博子／訳	慶應義塾大学出版会	230.7/サ
	ゲームデザインバイブル	Jesse Schell／著 塩川 洋介／監訳	オライリー・ジャパン	798.50/シ
社会	エクソダス：移民は世界をどう変えつつあるか	ポール・コリアー／[著] 松本 裕／訳	みすず書房	334.4/コ
	消費税の誤りやすい届出・申請手続の実務対応 第3版	竹内 綱敏／著	税務研究会出版局	336.98/タ
自然	生命科学、食品・栄養学、化学を学ぶための有機化学基礎の基礎 第3版	立屋敷 哲／著	丸善出版	437/タ
	マンション維持修繕技術ハンドブック 第5版	マンション管理業協会／編	オーム社	527.8/マ



今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》

ファミリーヒストリー・家系を探る

《社会科学》

きずな・つながり

《自然科学》

クルマ社会を考える

《国際》

ベトナム

《1階特設展示棚》

【SDGs 強化月間】SDGs・国連関係書籍展示